



6期生の中島紳護君が1年ぶりくらいに顔を見せてくれました。ハウスクリーニング専門店の代表です。仕事は忙しく来年まで予約があるそうです。富原中学校で講話も！



番茶の味

「私塾との連携」

きょうは、公立学校と私塾の融合についてです。本町では数年前から学校に私塾を導入し、放課後の時間を使って「学習サポート」を実施しています。この目的は、家庭学習の習慣化を図るために、家で自主的に学習するきっかけづくりをすることです。

現在は、小学校1年生から、中学校1年生段階までの子供を対象に希望者全員無料で指導しています。当初、学校に塾講師を入れることにはさまざまな不安もありました。

しかし、今では先生方も塾講師からさまざまな刺激を受けています。白糠町では、教育の現場でも官民一体の取組を積極的に取り入れています。

川島眞澄

(白糠町教育委員会教育長)

釧路新聞より

★スワベ博士の脳をどうに使う！
7万人の調査で判明した「子供のスマホ利用が医学的にマズい理由」子供の頃から「スマホに触って育った人間」の恐ろしい末路

川島隆太東北大学加齢医学研究所教授
うちの子、大丈夫だろうか。夢中でスマホを触る子供の姿に、不安を感じる人は多いだろう。最新の研究が示す、大人が思う以上に深刻なリスクとは。のべ7万人の子供を調査した脳科学者が警鐘を鳴らす。

どれだけ勉強してもスマホを使えば台なしにスマホがなくてはならない存在になりつつあるのは子供の世界も同様だ。NTTドコモモバイル社会研究所の調査では、今や小学校高学年の4割、中学生の7割が所有している。しかし、スマホ使用に伴うリスクについてはまだまだあまり知られていない部分も多い。

スマホが子供の学力破壊につながる危険性を指摘しているのが、脳科学者で東北大学加齢医

学研究所の川島隆太教授だ。川島氏は宮城県仙台市の小中学校に通う児童・生徒のべ7万人の生活習慣と学力の追跡調査を10年以上行っており、スマホ利用のリスクを訴え続けている。

「2010年から始まった大規模調査によってまず明らかになったのは、スクリーンタイム（平日一日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等の画面の視聴時間）が1時間を超えてしまうと、極端に学力が低くなるという事実です。

利用時間が伸びるのに比例して、数学・国語・理科・社会いずれの学力も低下することがわかりました。教科を問わないことから、論理的思考力、記憶力、集中力、読解力など、学習能力全般に影響があると推測しています」

(川島氏、以下同)

スポーツ庁が発表している「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」によると、スクリーンタイムの増加が見てとれる。学習以外のスクリーンタイムが「3時間以上」の割合は小中学校男女ともに増加しており、令和6年度の数字は平成28年度の調査開始以来、最も高い割合となった。小学生で約4割、中学生で約5割が、学習以外の目的で一日にスマホを3時間以上使用しているという。小学生男子に限定すると、「5時間以上」と答えた割合が約19%と、およそ5人に1人の計算になる。

スマホがあるだけで集中力が奪われ成績低下

「データをさらに細かく見ていくと、たとえば2時間以上勉強したとしても、スマホを3時間以上使ってしまうと、ほとんど家で勉強をしないけれどもスマホを使わない生徒たちのほうが、成績が良くなってしまっているという事実も発見しました」

その後、川島氏の研究チームでは、子供たちの脳発達の経年変化を探るべく、MRI計測で観察する試みも行ったという。

「3年ごとに子供たちに大学に来てもらい、脳の形のMRI写真を撮らせてもらったのです。それと同時に生活習慣に関するアンケート調査も実施し、一日にインターネットをどれくらい利用しているのかを質問項目に入れました。すると、インターネットの利用時間が長い子供ほど、3年前の写真と脳の状態が変わっていません。脳の発達が進まれている領域がたくさんあり、大脳においては3分の1の発達が止まり、大脳白質という大脳同士をつないでいるネットワークの部分に関しては、領域全般にわたって発達が進まなくなりました。

この事実を踏まえると、スマホを長時間使うと子供の学力が低下する原因は、実は脳の発達に問題が生じるからだと言わざるをえません」

スマホに電源が入っているだけでも負の影響が生じることが、さまざまな研究結果によって明らかとされているのだ。スマホはプッシュ型で情報が入ってくるデバイスなので、「何か連絡や通知が入るのではないかと注意がそがれがちです。

電源の入っているスマホを近くに置いて寝ると、眠りが浅くなることも複数の研究で指摘されています。実際は鳴っていないのに通知音が聞こえたり、バイブレーションを感じたりした経験のある方は少なからずいると思います。まさに「いつ情報が来るか」に気を取られていることの表れでしょう」

スマホが注意力を奪うことは海外の研究報告でも明らかにされている。例えば、米テキサス大学オースティン校のワード准教授らが大学生を対象に行った実験。自身のスマホを①机の上に置く、②ポケットに入れる、③別室に置く、の3群に分け、記憶力検査と非言語知能検査を実施したところ、それぞれの検査の成績はいずれも、③別室に置く、②ポケットに入れる、①机の上に置く、の順になったという。スマホの操作に意識を向けなくても、スマホが手元にあるだけで注意力が散漫になる現象を「Brain Drain（脳からの資源流出）」と定義し、注意を促している。

動画の視聴、ゲーム、SNS、メッセージのやり取りや通話など、同時に複数のことができるデバイスなのも重要なポイントだ。「スマホゲームの一回のプレイ時間は短いものが多く、1〜2分程度で決着がつくものが大半です。かつては、ゲームといえば専用ハード機器にソフトを入れて遊ぶのが一般的で、長時間プレイを止められないことを問題視する場面のほうが多かったように思います。


しかし、現在ではそのような集中さえも維持できなくなっているのです。スマホは、動画を視聴しながら広告の合間にメッセージを返信し、さらにゲームをプレイするといった使い方がしやすい構造になっています。アプリ開発側もこのような利用スタイルを前提にしているからこそ、集中力がなくなっても楽しめるアプリやゲームが意図的に作られているわけです」

川島氏は、仙台市の子供たちを対象とした調査の中で、4教科の平均偏差値を、LINE、動画、ゲーム、音楽の使用頻度ごとにわけた算出も行っている。するとすべてのアプリにおいて、勉強中に使用する頻度が高いほど学力が低くなる傾向がわかった。スマホを使った「ながら勉強」は、今すぐにもやめさせたい習慣だ。

プレジデント 25年4月4日から抜粋

いよいよ最初の定期テストです！
6月は今年度最初の定期テストがあります。定期テストは各教科テスト範囲が示されますからしっかりと取り組みましょう。塾ではもちろんのことですが家庭学習でテスト範囲をしっかり復習することです。内申点に関係する大事なテストです。

教科	範囲	備考
国語	現代文、古文	
数学	代数、幾何	
理科	物理、化学、生物	
社会	歴史、地理	
英語	文法、読解	
音楽	楽理、演奏	
美術	図画、工芸	
体育	運動、健康	
保健	生活、安全	
家庭	生活、食育	
総合	総合的な学習	

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
	休塾	休塾	景雲修学旅行（ゝ29）		◆富原・美原定期			休塾	休塾		◆春採（ゝ20）・青陵定期				休塾				◆景雲定期（ゝ12）			休塾	休塾		★青陵修学旅行（ゝ6）		★美原修学旅行（ゝ5）	◆別保定期	休塾	
<div>大きな声であいさつを！</div>																														
<div>中3生の入塾受付は6月末までです！</div>																														
<div><div>気合と根性</div></div>																														
6月の予定																														



網走出身の教育ベンチャー創業者 神野元基さん
米国での起業や学習塾経営、人工知能（A I）を使ったタブレット用教材開発などを経て佐賀県の中高一貫校の校長となった異色の教育者だ。原点には、網走での子ども時代に抱いた世界平和への思いがある。

2022年に佐賀の乗明館中学校・高校の校長に就任しました。目指すのは、やる、やらないも含め生徒が自分で決める主体的な学び。生徒が科目を選んで時間割を決める総合選択制を導入し、校則も生徒自身に考えてもらいました。当初は、教員に生徒を管理しなければという意識が残っていて、時代に合わせて教育内容を更新することも難しかったのですが、このケースではこうしましょう、と一つ一つ具体的に伝えることで、目指す教育を理解してもらえるようになりました。

学校を率いる現在の姿からは想像できないが、網走では問題児だった。

小6の時、携帯型の液晶玩具「デジタルモンスター」が流行し、なかなか手に入りませんでした。予約できる店を見つけ、買う方法を500円で教える商売を始めたところ好評で、ほかの児童と営業部隊を結成し、数万円もうけました。そのお金で友達を連れてマチで遊んでいたら、学校で大問題になり、親が全校集会で謝罪する事態になりました。自分では面白いからやっていただけのことが、社会のルールではだめなことだった。ありとあらゆる大人に怒られたことで、人間として守らなければいけない最低限のルールは何かと考えるようになりました。殺してはいけない、殴ってはいけないことがルールなら、なぜ戦争が起こっているのか。社会規範や世界平和を深く意識するようになりました。

小学校での失敗から、中学は目立たないよう過ごしました。
でも高校では納得できないルールへの反発で、髪を金髪にしました。心に葛藤があり、クラスでは浮いていて教師にも理解してもらえなかった。苦しい時期でした。

そんな中、進学した慶応大総合政策学部での出会いが転機となる。

神奈川県湘南藤沢キャンパスにはすでに音楽やIT技術で実績があるおもしろい同級生が多く「自分も突き抜けていいんだ」と思いました。電子出版の会社を起業し、大学には行かなくなりました。

10年には米シリコンバレーに渡り、ウェブカメラで感情を測定するサービスの事業化を模索しました。結局、法人化には至りませんでした。このとき「シンギュラリティ（技術的特異点）」という概念を知ったことが、教育に携わるきっかけとなりました。AIが人間の知能を超える転換点のことで、45年にも到来すると言われていました。そうなったらAIは世界を滅ぼすかもしれないし、平和にするかもしれない。そんな未来をどう生き抜くのか、子どもたちに伝えたいと思い、東京都内で学習塾経営の「COMPASS（コンパス）」を創業し、その後AIを活用したタブレット用教材「Qubena（キュビナ）」（根室でも採用）を開発しました。



キュビナは、誤答や解答にかかった時間をAIが分析し、その子が間違った部分を克服するのに最適な問題を出し続ける教材。AI型教材の先駆けとして16年にサービスを開始し、現在は全国2300以上の小中学校で使われている。だが、自身は事業が軌道に乗り始めた20年1月、最高経営責任者（CEO）を退き、活動の場を学校現場に移した。

このころ、キュビナは開発の段階を終え、着実に成長させる局面に入っていました。一方で、国は児童生徒に1人1台タブレット端末を整備するGIGA（ギガ）スクール構想を始めようとしていましたが、学校ではタブレットの活用が進まなかった。先進事例となる実践校をつくりたいという思いが芽生え、事業はほかのスタッフに任せて退任することにしました。

19年から文部科学省の中央教育審議会などで委員も務める。

学習塾を始めた当時から「未来の君に会いに行く」という言葉を自身のキーワードにしているという。

日本はほかの先進国に比べ子どもの自己肯定感が低い。ここを改善することが一丁目一番地だと思っています。生成AIが人間の仕事を肩代わりしてくれる未来では、指示を待つ人間ではなく、主体的に動き、新しい価値を生み出す人間が求められます。

火の中に飛び込む消防士の姿はロボットに替わり、タクシーも自動運転になっているかもしれない。そんな未来で、自分は何をしているのか。ぜひ、楽しい未来を想像してほしい。それが世界を平和にする原動力になると信じています。



じんの・げんき 1985年、渡島管内木古内町生まれ。5歳から網走市育ちで、網走南ヶ丘高卒。慶應大中退。東明館中学校・高校（佐賀県）理事長・校長。AIを使った学習教材開発の教育ベンチャーCOMPAS（コンパス）創業者。39歳。



3歳のころの私です。このころ、目をつむったまま三輪車に乗って坂道を降り、目を開けたら瞬間移動したように見えるという実験を繰り返し、ドブに落ちて12針縫う大けがをしました。新しいことへの挑戦をいとわない性格は、生まれつきかもしれません。

北海道新聞 25.0429

未来で、自分は何をしているのか。みんなも未来を想像してみましょう！
選択肢の一つです。特認校 ユネスコスクール 釧路市立山花小中学校

YAMAHANA
Elementary & Junior High
School

特認校
釧路市立山花小中学校

釧路市立山花小中学校
〒084-0928
釧路市山花14 132番地
TEL 0154-56-2111
FAX 0154-56-2120

学校紹介

- ・「特認校」とは？
- ・山花の魅力と特色ある教育活動
- ・特認生保護者の声

**山花小中学校の
魅力と特色ある
教育活動**

少人数を生かした授業
ALT外国語指導

ESD(持続可能な社会の担い手を育成する教育)に基づき

小中縦割り班での栽培学習

自分で育てた作物の収穫

ふるさと釧路を愛するキャリア教育の推進

小学校通足の社会見学

飼育体験などの動物園学習

地域・保護者・幼保とつながる行事

大運動会

地域清掃ボランティア

魅力ある行事・学習

小学校和太鼓クラブ

学校祭での全校器楽演奏

**「魅力ある教育活動を展開する
『山花小中学校』で実りある学びを」**

山花小中学校は、市内全域を校区とする特認校です。少人数制、小中併置という特徴を生かし、個別指導の充実、義務教育9年間の連続性を生かした教育課程の編成を行っています。また、ユネスコスクールの国際登録をしており、動物園学習、農園学習など、「本物」を体験する活動を通して、自然や命の尊さ、社会や環境の問題を考えるなど、大きな視野に立った学習にも積極的に取り組んでいます。

ユネスコスクールとは

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校として文部科学省と日本ユネスコ委員会が認めた学校です。
山花小中学校はESD推進拠点校としての役割、学習等を実践しています。

特認入学の考え方

一般的に児童生徒が通学する学校は、教育委員会が定めた通学区域に基づいて決まります。
特認入学は、保護者が本校の魅力と特色ある教育活動に賛同し、その中で子どもの力を伸ばしていきたいと強く望む場合、通学区域を越えて転入学できる制度です。その他、通学上の条件、心身の条件、保護者の協力などの諸条件がありますので、詳しくはホームページの「特認入学について」のタブから「転入学生募集案内」をご覧ください。
また、「特認校についてもっと知りたい!」「山花の教育活動を実際に見てみたい!」と思われる方は気軽に学校までお問い合わせください!

HP <http://www.kushiro.ed.jp/yamahana-ej/htdocs>
E-mail info@yamahana-ej.kushiro.ed.jp

ホームページで日々の教育活動を紹介しています！
ぜひ、ご覧ください！（表面QRコードもご利用ください）